

授業科目名・形態	老年看護学概論 講義	必修・選択の別	必修	単位数	1
科目担当者氏名	檜原登志子	実務経験の有無	有	開講期	1年後期

【授業の主題】

高齢者は成熟の段階を生きているが、又、各人違う人生や価値観で生きてきた。老いを生きるその人に焦点をあて、エイジングのポジティブな側面と加齢（エイジング）の生態変化、老化（セネッセンス）の病態変化の特殊性と多様性について、身体的、精神心理的、霊的、社会的側面の変化について学ぶ。又、現在の高齢者を取り巻く保健・医療・福祉の動向等を社会環境的にも学ぶ。これらから老年看護学の理論と看護方法を連結する基本的な考え方を学習する。

【到達目標】

1. 加齢による身体的、精神心理的、霊的、社会的側面の変化を理解する
2. 現在の高齢者を取り巻く保健・医療・福祉の動向と社会情報等の社会環境を理解する。

【授業計画・内容】

第1回 老年看護学序論	老年看護の概念 老年看護学概論の構築	科目構成・概論の目的・内容
第2回 老年期の理解	高齢期の健康 老年看護に活用する理論	老年看護の対象となる人の特徴
第3回 高齢社会と社会保障	高齢社会と統計的輪郭	日本の人口高齢化
第4回 高齢者の生活の特徴と課題		
第5回 高齢者のニーズと保健医療福祉対策	ソーシャルサポート	
第6回 高齢者と社会システム	介護保険制度	
第7回 高齢者看護の機能と役割	高齢者と家族	
第8回 高齢者看護における倫理的課題	高齢社会における権利擁護 看護を巡る法と制度	

【授業実施方法】

講義形式。必要に応じ（高齢者の立場に立つて生活状況を考えるケア者になる為に、事例の視聴覚教材）等を視聴して、状況を洞察し思考する。グループワークを行う。

【授業準備】

授業で配布する資料や教科書で復習をし、理解を深めてください。

【主な関連する科目】

エイジング論、病態治療学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（精神）、保健・医療と法律

【教科書等】

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 第9版、医学書院 2022
 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論 第5版 医学書院、2022

【参考文献】

ナーシング グラフィカ 改訂巻「高齢者の健康と障害」、「老年看護の実践」、メディカ出版、2022
 山田律子他編：生活機能から見た老年看護過程＋病態・生活機能関連図、第2版、医学書院、2012/2015
 亀井智子編集：根拠と事故防止からみた老年看護技術、第1版、医学書院、2012/2014、第2版、2016

【成績評価方法】

筆記試験 85%、課題学習レポート提出 10%、授業態度 5% の 総合評価とする。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

総合病院第3次救急、大学病院の教育研究の場で、看護師、主任、師長の実務経験や認知症専門士から、ケアを受ける人すべてに生命安全第一、尊厳を持ち接し、安心安楽な生活を支援できるケア者となるための学習支援を致します。

【学生へのメッセージ】

講義第2回目の「老年期の理解」の老いの意味については、後期「エイジング論」の授業で行っている、（老年期とは、老化に関する理論、老性変化（身体・精神心理・社会）を復習し、老いを生きる高齢者に愛と関心を寄せていきましょう。尊厳あるケアの出来る支援者の理解で、医療福祉・看護の統合社会について、社会情報も学習しましょう。「事前学習」と「事後学習」の課題を提供後、提出を求めます。学習の評価としていきましょう。